

記者発表資料（資料配布）				
発表日	担当課名	電話	発表者名（担当者）	その他配布先
9月16日（水）	病院局経営課	078-362-3301	経営課長 市川 裕造 （経営企画班長 近藤 昭広）	阪神南、東播磨、中播磨、西播磨、丹波、淡路各県民局 （県民センター）

令和7年度 兵庫県病院事業の経営状況について

1 経営状況（13病院）

令和7年度の経常収益は、入院収益、外来収益がともに増加したことに加え、医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業補助金などの補助金や一般会計繰入金の増加もあり、令和6年度に比べ112億円増加した。

一方、経常費用は、人事委員会勧告に基づく給与改定等による給与費の増加、物価高騰に伴う材料費や経費の増加により、102億円の増加となった。

これらの結果、経常損益は、令和6年度から10億円改善したものの、マイナス119億円と引き続き大幅な赤字となった。

また、純損失は125億円となった。

【決算状況】

（単位：百万円）

区 分		令和6年度	令和7年度	前年度比較	
				増減	割合（%）
経常収益	入院収益	97,659	101,512	3,853	103.9
	外来収益	41,352	43,336	1,984	104.8
	その他医業収益	3,007	3,369	362	112.0
	医業収益 計	142,018	148,217	6,199	104.4
	一般会計繰入金	16,637	19,578	2,941	117.7
	補助金	999	3,023	2,024	302.6
	その他収益	9,486	9,552	66	100.7
合 計 ①		169,140	180,370	11,230	106.6
経常費用	給 与 費	87,530	92,308	4,778	105.5
	材 料 費	49,710	53,254	3,544	107.1
	経 費	29,325	30,786	1,461	105.0
	その他医業費用	13,079	13,327	248	101.9
	医業費用 計	179,644	189,674	10,030	105.6
	その他費用	2,345	2,548	203	108.7
合 計 ②		181,988	192,223	10,235	105.6
経常損益 ③（①－②）		△ 12,849	△ 11,852	997	－
特別利益 ④		98	118	20	120.4
特別損失 ⑤		532	769	237	144.5
当期純損益⑥（③＋④－⑤）		△ 13,283	△ 12,504	779	－

※ 計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。以下の表についても同様。

【（参考）病院別】

（単位：百万円）

区 分		尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども
R6 決算	経常損益	△2,196	△1,784	△1,495	△1,992	△1,271	△796	△351	△1,609
	純 損 益	△2,188	△1,830	△1,494	△2,389	△1,280	△800	△350	△1,610
R7 決算	経常損益	△2,829	△1,675	△1,549	104	△1,025	△922	△84	△2,330
	純 損 益	△2,870	△1,612	△1,549	△566	△1,018	△934	△83	△2,333

区 分		がん	粒子線		10病院計	指定管理			計
			たつの	神戸陽子		災害	リハ中	リハ西	
R6 決算	経常損益	△285	△671	△400	△12,849	0 (△42)	0 (△19)	0 (△24)	△12,849 (△85)
	純 損 益	△286	△656	△400	△13,283	0 (△42)	0 (△19)	0 (△24)	△13,283 (△85)
R7 決算	経常損益	△366	△727	△448	△11,852	0 (196)	0 (△12)	0 (△84)	△11,852 (100)
	純 損 益	△365	△727	△447	△12,504	0 (196)	0 (△12)	0 (△84)	△12,504 (100)

※ （ ） 書きは指定管理病院の決算を記載

【業務量】

区 分		単位	令和 6 年度	令和 7 年度	前年度比較
入院	病床数(年度末)	床	4,394	4,309	△ 85
	病床利用率	%	81.2	83.8	2.6
	延患者数	人	1,301,939	1,318,689	16,750
	1日当たり患者数	人/日	3,567	3,612	45
	平均在院日数	日	12.5	12.4	△ 0.1
	入院単価	円	80,040	82,086	2,046
外来	延患者数	人	1,778,308	1,784,172	5,864
	1日当たり患者数	人/日	7,318	7,372	54
	外来単価	円	24,029	24,869	840

2 資本的収支の決算状況

(単位：百万円)

区 分		令和 6 年度	令和 7 年度	前年増減	主な増減理由
収入	企業債	15,350	41,360	26,010	西宮総合医療センター整備事業、がんセンター建替整備事業に伴う増
	負担金	7,641	7,495	△ 146	一般会計負担金の減
	その他収入	1,034	1,317	283	西宮総合医療センター整備事業にかかる諸収入の増
	合 計	24,024	50,172	26,148	
支出	建設改良費	16,374	42,665	26,291	西宮総合医療センター整備事業+26,288(7,306→33,594) がんセンター建替整備事業+3,818(448→4,266) 医療機器整備事業△3,650(8,004→4,354)
	企業債償還金	12,481	12,199	△ 282	丹波医療センターの開設時整備医療機器償還終了に伴う減
	その他支出	114	97	△ 17	医師修学資金貸付金等の減
	合 計	28,969	54,961	25,992	
差 引		△ 4,945	△ 4,789	156	

3 累積欠損金、内部留保資金等

令和 7 年度末の累積欠損金は、当期純損益が 125 億円の赤字となったことから 754 億円となり、456 億円の債務超過となった。

なお、内部留保資金残高は、経営改善推進事業債 130 億円の発行によりマイナス 41 億円となった。

(単位：百万円)

区 分	令和 6 年度	令和 7 年度
当期純損益	△ 13,283	△ 12,500
累積欠損金	△ 62,854	△ 75,354
資本合計	△ 33,437	△ 45,643
内部留保資金残高	△ 7,914	△ 4,112

※ 金額は損益計算書ベース（税抜き）で作成

4 令和 8 年度を取組について

令和 8 年度も給与改定による給与費の増や物価高騰の継続等、厳しい経営環境が見込まれるが、病棟の一時休止、新病院の段階的オープン、職員配置の適正化など、より強化した収支改善策に病院局と各病院が一丸となって取り組み、持続可能な経営の確保に努める。

記 者 発 表 （ 資 料 配 布 ）				
月・日 (曜日)	担 当 部 課 担 当 名	TEL	発 表 者 名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	尼崎総合医療センター 経 営 企 画 部	代表 06-6480-7000 内線 24049	管理局長 和泉 秀樹 (経営企画部長 長田 誠司)	県政記者 クラブ

令和7年度 県立尼崎総合医療センターの経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、新規入院患者数や診療単価の増等による入院収益及び外来収益の増加、医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業補助金や光熱費等高騰対策一時支援金等により、前年度から2,578百万円増加し、42,322百万円となった。
- (2) 経常費用は、給与改定等による給与費の増、賃金上昇に伴う委託費の増や物価高騰という社会情勢の波を受け経費が増加したことに加え、収益連動性の強い材料費も高度医療提供の裏返しとして増加した結果、前年度から3,211百万円増加し、45,151百万円となった。
- (3) その結果、経常損益は、前年度から633百万円悪化し、2,829百万円の赤字となった。

区 分		単位	令和6年度	令和7年度	前年度比較	
					増減	割合(%)
業務量	病床数（年度末）	床	730	730	0	100.0
	入 院	延患者数	236,041	239,226	3,185	101.3
		1日当たり患者数	647	655	8	101.2
		新規患者数	23,075	23,254	179	100.8
		平均在院日数	9.2	9.3	0.1	100.6
		診療単価	106,532	110,304	3,772	103.5
	外 来	延患者数	448,592	445,868	△ 2,724	99.4
		1日当たり患者数	1,846	1,842	△ 4	99.8
		新規患者数	34,829	33,970	△ 859	97.5
		診療単価	21,002	22,293	1,291	106.1
経常収益	入院収益	百万円	25,146	26,388	1,242	104.9
	外来収益	百万円	9,421	9,940	519	105.5
	その他医業収益	百万円	675	736	61	109.0
	医業収益 計	百万円	35,242	37,064	1,822	105.2
	一般会計繰入金	百万円	2,854	3,192	338	111.8
	その他収益	百万円	1,648	2,066	418	125.4
	合 計 ①	百万円	39,744	42,322	2,578	106.5
経常費用	給 与 費	百万円	20,413	21,632	1,219	106.0
	材 料 費	百万円	13,306	14,762	1,456	110.9
	経 費	百万円	5,576	6,011	435	107.8
	その他医業費用	百万円	2,280	2,367	87	103.8
	医業費用 計	百万円	41,575	44,772	3,197	107.7
	その他費用	百万円	365	379	14	103.8
	合 計 ②	百万円	41,940	45,151	3,211	107.7
経常損益 ③（①－②）		百万円	△ 2,196	△ 2,829	△ 633	—
特別利益 ④		百万円	30	7	△ 23	23.3
特別損失 ⑤		百万円	22	48	26	218.2
純損益⑥（③＋④－⑤）		百万円	△ 2,188	△ 2,870	△ 682	—

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実等

① 医療提供体制の充実

- ・療法士の増員によるリハビリテーション提供体制の充実
- ・薬剤師の病棟業務拡充によるポリファーマシー（多剤服用）対策の強化
- ・特定行為看護師による創傷管理関連行為の実施
- ・スマートフォン導入による院内関係の強化

② 患者サービスの向上

- ・医療費あと払いサービス「待たずにラク〜だ」の導入
- ・ホームページ・広報誌等の刷新による情報発信の強化

③ 効率性の向上

- ・手術室の運用分析に基づく稼働率向上

(2) 施設・医療機器の整備

① 多項目自動血球分析装置の更新（約 58 百万円、令和 8 年 1 月）

② 自動採血管準備システムの更新（約 69 百万円、令和 8 年 2 月）

③ 血管連続撮影装置の更新（約 145 百万円、令和 8 年 3 月）

3 今後の取組

① 診療機能の充実

- ・がんゲノム医療の拡充

② 患者サービスの向上

- ・電子処方箋の運用開始

③ 効率性の向上

- ・音声入力システムの本格導入による電子カルテ等への入力効率の向上
- ・R P A（定型事務作業の自動化）の導入促進による事務作業の効率化

[参 考] 令和 7 年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記 者 発 表 （ 資 料 配 布 ）				
月・日 (曜日)	担 当 部 課 担 当 名	TEL	発 表 者 名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	西宮総合医療センター 経営企画部	代表 0798-31-7700 内線 3316	管理局長 安木 雅喜 (経営企画部長 松井亮一郎)	県政記者 クラブ

令和7年度 県立西宮病院の経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、救急受入態勢の強化や地域医療機関との連携推進といった取組に加え、新たに脳神経内科を開設したことによる脳梗塞治療の強化などに伴い、入院・外来ともに患者数及び診療単価が伸び医業収益が 803 百万円増額するなど、前年度と比較して 1,116 百万円増え、14,498 百万円となった。
- (2) 経常費用は、患者数の増加に伴う材料費の増に加え、昨今の人件費上昇や物価高騰の影響を受け、給与費や経費など幅広く費用が増加した。また、新病院開院後を見据えた計画的な職員配置や竣工後の新病院管理費用も重なり、前年度と比較して 1,007 百万円増え、16,173 百万円となった。
- (3) その結果、経常損益は前年度から 109 百万円改善したものの、1,675 百万円の赤字となった。

区 分			単位	令和 6 年度	令和 7 年度	前年度比較	
						増減	割合(%)
業務量	病床数（年度末）		床	400	400	0	100.0
	入院	延患者数	人	111,792	116,341	4,549	104.1
		1日当たり患者数	人	306	319	13	104.2
		新規患者数	人	10,294	10,613	319	103.1
		平均在院日数	日	9.9	9.9	0.0	100.0
		診療単価	円	74,663	76,190	1,527	102.0
	外来	延患者数	人	146,636	147,753	1,117	100.8
		1日当たり患者数	人	603	611	8	101.3
		新規患者数	人	11,366	11,555	189	101.7
診療単価		円	21,758	23,310	1,552	107.1	
経常収益	入院収益		百万円	8,347	8,864	517	106.2
	外来収益		百万円	3,191	3,444	253	107.9
	その他医業収益		百万円	253	285	32	112.6
	医業収益 計		百万円	11,791	12,594	803	106.8
	一般会計繰入金		百万円	1,122	1,267	145	112.9
	その他収益		百万円	469	637	168	135.8
	合 計 ①		百万円	13,382	14,498	1,116	108.3
経常費用	給 与 費		百万円	8,441	9,013	572	106.8
	材 料 費		百万円	3,906	4,226	320	108.2
	経 費		百万円	2,098	2,275	177	108.4
	その他医業費用		百万円	654	576	△ 78	88.1
	医業費用 計		百万円	15,099	16,090	991	106.6
	その他費用		百万円	67	83	16	123.9
	合 計 ②		百万円	15,166	16,173	1,007	106.6
経常損益 ③（①－②）			百万円	△ 1,784	△ 1,675	109	－
特別利益 ④			百万円	26	69	43	265.4
特別損失 ⑤			百万円	72	6	△ 66	8.3
純損益⑥（③＋④－⑤）			百万円	△ 1,830	△ 1,612	218	－

※ 1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① 脳神経内科開設（常勤医2名体制）による脳梗塞治療の強化（令和7年4月～）
- ② 準夜勤看護師の増員による救急患者受入体制の充実に伴う救急応需件数の増加（令和7年4月～）
- ③ 外来処置室を活用した眼科診療の定着など手術枠運用見直し効果による手術等件数の増加（令和7年4月～）

(2) 施設・医療機器の整備

- ① 新病院開院を見据えた着実な整備（総事業費約629億円）の推進（令和7年4月～）

3 今後の取組

- ① 西宮市立中央病院との統合新病院では35科の診療科を備え、医師、看護師、薬剤師、技師、療法士などの医療人材の充実を図り、チームで高度専門医療を提供する。
- ② 救命救急センターの充実強化に加え、西宮市の救急ワークステーションとの緊密な連携により救急患者の受入体制を強化し、応需率や救急救命率の向上を図る。
- ③ 患者を移動させることなく透視検査と処置が可能なハイブリッドERや、多様な手術支援ロボットなど高度先進医療機器を整備する。
- ④ 病病・病診連携のプロセスにwebブラウザシステムを導入し、地域の医療機関との連携を強化・円滑化し患者さんの利便性向上を図る。

【参 考】 令和7年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記 者 発 表 （ 資 料 配 布 ）				
月・日 (曜日)	担 当 部 課 担 当 名	TEL	発 表 者 名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	加古川医療センター 総 務 部	代表 079-497-7000	管理局長 門田 高弘 (総務部長 藤田 真也)	県政記者 クラブ

令和7年度 県立加古川医療センターの経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、神経難病センターの開設等により患者確保に努め、延入院患者数は増加したものの、常勤の循環器内科医及び乳腺外科医が不在となった影響により、前年度から 468 百万円減少した。
- (2) 経常費用は、1 病棟を休止して運営の効率化を図るとともに、ベンチマークを活用した診療材料の値引き交渉の強化等により材料費の削減に努めたものの、給与改定に伴う給与費の増加や物価上昇による経費等の増加により、前年度から 414 百万円の減少にとどまった。
- (3) この結果、経常損益は前年度より 54 百万円悪化し、1,549 百万円の赤字となった。

区 分		単位	令和 6 年度	令和 7 年度	前年度比較	
					増減	割合 (%)
業務量	病床数（年度末）	床	353	307	△ 46	87.0
	入 院	延患者数	96,239	97,229	990	101.0
		1 日当たり患者数	264	266	2	100.8
		新規患者数	6,987	6,558	△ 429	93.9
		平均在院日数	11.5	12.5	1.0	108.7
		診療単価	71,142	66,776	△ 4,366	93.9
	外 来	延患者数	166,898	156,394	△ 10,504	93.7
		1 日当たり患者数	687	646	△ 41	94.0
		新規患者数	9,144	8,659	△ 485	94.7
		診療単価	21,341	20,522	△ 819	96.2
経常収益	入院収益	百万円	6,847	6,493	△ 354	94.8
	外来収益	百万円	3,562	3,210	△ 352	90.1
	その他医業収益	百万円	278	307	29	110.4
	医業収益 計	百万円	10,687	10,009	△ 678	93.7
	一般会計繰入金	百万円	1,336	1,434	98	107.3
	その他収益	百万円	985	1,097	112	111.4
	合 計 ①	百万円	13,008	12,540	△ 468	96.4
経常費用	給 与 費	百万円	7,489	7,499	10	100.1
	材 料 費	百万円	3,453	2,998	△ 455	86.8
	経 費	百万円	2,298	2,308	10	100.4
	その他医業費用	百万円	977	988	11	101.1
	医業費用 計	百万円	14,217	13,793	△ 424	97.0
	その他費用	百万円	286	296	10	103.5
	合 計 ②	百万円	14,503	14,089	△ 414	97.1
経常損益 ③（①－②）		百万円	△ 1,495	△ 1,549	△ 54	—
特別利益 ④		百万円	8	0	△ 8	0.0
特別損失 ⑤		百万円	7	0	△ 7	0.0
純損益⑥（③＋④－⑤）		百万円	△ 1,494	△ 1,549	△ 55	—

※ 1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① 神経難病センターの設置（令和7年4月）
- ② リハビリテーションの提供体制の強化（令和7年4月）
- ③ 地域医療連携会議や病院フェスタ2026の開催による情報発信の強化

(2) 施設・医療機器の整備

- ① ダブルバルーン小腸内視鏡システム（約34百万円）の整備（令和7年8月）
- ② 腹腔鏡手術システム（約60百万円）の整備（令和7年10月）
- ③ MRI装置用AIソフトウェア（約10百万円）の導入（令和7年10月）

3 今後の取組

- ① VR技術を活用した医療機器導入による神経難病センターの機能強化（令和8年7月）
- ② 病院機能評価（緩和ケア）の受審（令和8年9月）
- ③ 県かこ県民フォーラムの開催（令和8年9月）
- ④ 卒後臨床研修評価機構（JCPEP）による評価の受審（令和8年10月）
- ⑤ 総合医療情報システムの更新による患者サービスの向上（令和8年11月（予定））

[参 考] 令和7年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記 者 発 表 （ 資 料 配 布 ）				
月・日 (曜日)	担 当 部 課 担 当 名	TEL	発 表 者 名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	はりま姫路総合医療センター 経 営 企 画 部	代表 079-289-5080 内線 77021	管理局長 柏木 英士 (経営企画部長 石田 智司)	県政記者 クラブ

令和7年度 県立はりま姫路総合医療センターの経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、入院・外来患者数の増加などにより医業収益が2,926百万円増加したこと、及び一般会計繰入金の一時的な増加¹や賃金・物価高に対する補助金増加により医業外の収益が1,900百万円増加したことから、前年度から4,825百万円増加し38,591百万円となった。
- (2) 経常費用は、材料費や経費の抑制・節減に取り組んだが、昨年度に引き続く大幅な給与の増額改定や物価高の影響に加え、依然として重い減価償却費の負担が続いていることから、前年度から2,728百万円増加し38,486百万円となった。
- (3) この結果、経常損益は、前年度から2,096百万円改善し、104百万円の黒字となった。
(※一時的な一般会計繰入金の増加約11億円を除くと実質的には約10億円の赤字)
- (4) また、令和6年度から実施している旧県立姫路循環器病センター建物等解体工事費用675百万円などを特別損失に計上したため、純損益は566百万円の赤字となった。

区 分		単位	令和6年度	令和7年度	前年度比較	
					増減	割合(%)
業務量	病床数(年度末)	床	736	736	0	100.0
	入 院	延患者数	233,843	244,268	10,425	104.5
		1日当たり患者数	641	669	28	104.4
		新規患者数	19,548	20,036	488	102.5
		平均在院日数	11.0	11.2	0.2	102.0
		診療単価	95,092	98,169	3,077	103.2
	外 来	延患者数	277,860	302,780	24,920	109.0
		1日当たり患者数	1,143	1,251	108	109.4
		新規患者数	24,706	25,723	1,017	104.1
		診療単価	23,578	25,348	1,770	107.5
経常収益	入院収益	百万円	22,237	23,979	1,742	107.8
	外来収益	百万円	6,551	7,675	1,124	117.2
	その他医業収益	百万円	605	664	59	109.8
	医業収益 計	百万円	29,393	32,319	2,926	110.0
	一般会計繰入金	百万円	1,905	3,381	1,476	177.5
	その他収益	百万円	2,468	2,892	424	117.2
	合 計 ①	百万円	33,766	38,591	4,825	114.3
経常費用	給 与 費	百万円	16,103	17,273	1,170	107.3
	材 料 費	百万円	10,532	11,840	1,308	112.4
	経 費	百万円	5,705	5,913	208	103.6
	その他医業費用	百万円	2,966	2,995	29	101.0
	医業費用 計	百万円	35,306	38,022	2,716	107.7
	その他費用	百万円	451	465	14	103.1
	合 計 ②	百万円	35,758	38,486	2,728	107.6
経常損益 ③(①-②)		百万円	△ 1,992	104	2,096	—
特別利益 ④		百万円	11	20	9	181.8
特別損失 ⑤		百万円	408	690	282	169.1
純損益⑥(③+④-⑤)		百万円	△ 2,389	△ 566	1,823	—

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

¹ 旧県立姫路循環器病センター建物等解体工事費に対する支援分約11億円

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① リハビリテーション体制の充実(令和7年4月)
- ② 不整脈センター設置(令和7年4月)
- ③ 麻酔科ペインクリニック外来開始(令和7年5月)
- ④ 耳鼻咽喉科ホットライン設置(令和7年7月)
- ⑤ 二次検査予約専用ダイヤルの拡充(令和7年8月)
- ⑥ 脳卒中ケアユニット(SCU : 3床) の設置(令和7年8月)
- ⑦ 土曜日における診療機能(入院:服薬指導、外来: MRI 検査) の充実(令和7年7月)

(2) 施設・医療機器の整備

- ① 電子カルテ不正侵入検知・防止システム(約38百万円) の整備(令和7年6月)
- ② 血管連続撮影装置(脳神経外科用)(約140百万円) の整備(令和8年3月)
- ③ 全身用コンピュータ断層撮影装置(約150百万円) の整備(令和8年3月)
- ④ 移動式X線透視診断装置(約18百万円) の整備(令和8年3月)

3 今後の取組

- ① DPC 対応力の更なる向上
- ② 腎臓病センター開設(令和8年4月)
- ③ 小児診療センター開設(令和8年4月)
- ④ 大動脈センター開設(令和8年7月)
- ⑤ 産婦人科におけるロボット手術開始(令和8年8月)
- ⑥ 生体腎移植の実施

【参 考】 令和7年度 兵庫県病院事業の経営状況について(別紙のとおり)

記者発表（資料配布）				
月・日 (曜日)	担当部課 担当名	TEL	発表者名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	丹波医療センター 総務部	代表 0795-88-5200 内線 1321	管理局長 栗飯原 弘尚 (総務部長 丹保 祐一)	県政記者 クラブ

令和7年度 県立丹波医療センターの経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、救急患者の受け入れ促進や地域医療連携の強化による患者の確保、前年度途中からの手術枠の拡充等により医業収益が増加し、医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業補助金もあったことから、前年度から 351 百万円の増加となり、10,938 百万円となった。
- (2) 経常費用は、給与改定等による給与費の増加、建物修繕費の減少、各種委託費の削減等による経費の減少の結果、前年度から 106 百万円増加し、11,964 百万円となった。
- (3) その結果、経常損益は、前年度から 246 百万円改善し、1,025 百万円の赤字となった。
- (4) また、特別損失に計上される旧柏原病院敷地の一般会計への移管に係る費用等が減少したことにより、純損益は前年度から 262 百万円改善の、1,018 百万円の赤字である。

区 分		単位	令和6年度	令和7年度	前年度比較	
					増減	割合(%)
業務量	病床数（年度末）	床	320	320	0	100.0
	入院	延患者数	104,311	104,144	△ 167	99.8
		1日当たり患者数	286	285	△ 1	99.7
		新規患者数	6,537	6,692	155	102.4
		平均在院日数	15.0	14.5	△ 0.5	96.9
		診療単価	56,074	57,272	1,198	102.1
	外来	延患者数 (医療センター分)	135,242 (119,467)	136,185 (121,537)	943 2,070	100.7 (101.7)
		1日当たり患者数 (医療センター分)	557 (492)	563 (502)	6 10	101.1 (102.1)
		新規患者数 (医療センター分)	16,975 (14,347)	15,618 (13,225)	△ 1,357 △ 1,122	92.0 (92.2)
		診療単価 (医療センター分)	17,120 (18,044)	17,359 (18,209)	239 165	101.4 (100.9)
経常収益	入院収益	百万円	5,849	5,965	116	102.0
	外来収益 (医療センター分)	百万円	2,315 (2,156)	2,364 (2,213)	49 57	102.1 (102.6)
	その他医業収益	百万円	409	438	29	107.1
	医業収益 計	百万円	8,574	8,767	193	102.3
	一般会計繰入金	百万円	933	1,027	94	110.1
	その他収益	百万円	1,080	1,144	64	105.9
	合 計 ①	百万円	10,587	10,938	351	103.3
経常費用	給 与 費	百万円	5,814	6,162	348	106.0
	材 料 費	百万円	2,109	2,109	0	100.0
	経 費	百万円	2,482	2,380	△ 102	95.9
	その他医業費用	百万円	1,197	1,018	△ 179	85.0
	医業費用 計	百万円	11,602	11,669	67	100.6
	その他費用	百万円	256	294	38	114.8
	合 計 ②	百万円	11,858	11,964	106	100.9
経常損益 ③ (①－②)		百万円	△ 1,271	△ 1,025	246	—
特別利益 ④		百万円	1	7	6	700.0
特別損失 ⑤		百万円	10	0	△ 10	0.0
純損益⑥ (③＋④－⑤)		百万円	△ 1,280	△ 1,018	262	—

※ 1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① 特定行為看護師の活用による手術枠の増
(令和 6 年 10 月～ 外科、整形外科につき、各 1 枠／週の増)
- ② 常勤麻酔科医の確保
(令和 8 年 1 月～ 1 名増、計 2 名に。令和 8 年 5 月～ 手術枠の増 各科計 7 枠／週の増)
- ③ 回復期リハビリテーション病棟における 365 日リハビリの開始 (令和 8 年 4 月～)
※土曜日リハビリについては、令和 6 年 10 月～開始。
- ④ 地域医療循環型人材育成プログラムの継続実施 (平成 20 年 10 月～神戸大学に委託)

(2) 施設・医療機器の整備

- ① 生体情報モニター (8 台) の更新 (約 28 百万円) (令和 8 年 3 月)
- ② 超音波診断装置 (5 台) の更新 (約 26 百万円) (令和 7 年 11 月)

3 今後の取組

- ① 丹波市ミルネ診療所、健診センター、訪問看護ステーションとの一体的な運営による患者の確保
- ② 消防本部との連携強化による救急患者の受入促進
- ③ 地域医療連携の強化
- ④ 地域医療教育センターによる人材育成の推進
- ⑤ 価格交渉の強化等による診療材料費の節減

【参 考】 令和 7 年度 兵庫県病院事業の経営状況について (別紙のとおり)

記 者 発 表 （ 資 料 配 布 ）				
月・日 (曜日)	担 当 部 課 担 当 名	TEL	発 表 者 名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	淡路医療センター 総 務 部	代表 0799-22-1200	管理局長 西山 信彦 (総務部長 北川 直人)	県政記者 クラブ

令和7年度 県立淡路医療センターの経営状況について

1 経営状況

物価上昇等の社会状況が厳しい中、令和7年3月に報告された「兵庫県立病院経営対策委員会報告書」に基づき、令和7年4月に4階西病棟を一時休止し、固定費の削減などに取り組んだが、人件費や物価上昇等で給与費や経費が増加していることから、厳しい経営状況にある。

- (1) 医業収益は、入院・外来患者数が伸び悩み、前年度から124百万円減少した。医業外収益は、医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業補助金等により増加し、経常収益が前年度から161百万円増加の16,334百万円となった。
- (2) 経常費用は、病棟一時休止で看護師定数を削減したものの県給与改定により給与費が増加し、物価上昇等により経費が増加したため、前年度から288百万円増加し、17,257百万円となった。
- (3) 経常損益は、収益増加よりも費用増加が上回ったため、前年度から126百万円悪化し、922百万円の赤字となった。
- (4) その結果、純損益は、前年度から134百万円悪化し、934百万円の赤字となった。

区 分		単位	令和6年度	令和7年度	前年度比較	
					増減	割合(%)
業務量	病床数(年度末)	床	441	402	△ 39	91.2
	入院	延患者数	127,504	122,145	△ 5,359	95.8
		1日当たり患者数	349	335	△ 14	96.0
		新規患者数	9,467	9,550	83	100.9
		平均在院日数	12.4	11.8	△ 0.6	94.8
		診療単価	78,371	81,709	3,338	104.3
	外来	延患者数	193,588	187,401	△ 6,187	96.8
		1日当たり患者数	797	774	△ 23	97.1
		新規患者数	13,773	13,101	△ 672	95.1
		診療単価	17,597	17,463	△ 134	99.2
経常収益	入院収益	百万円	9,993	9,980	△ 13	99.9
	外来収益	百万円	3,406	3,273	△ 133	96.1
	その他医業収益	百万円	190	212	22	111.6
	医業収益 計	百万円	13,589	13,465	△ 124	99.1
	一般会計繰入金	百万円	1,675	1,801	126	107.5
	その他収益	百万円	909	1,068	159	117.5
	合 計 ①	百万円	16,173	16,334	161	101.0
経常費用	給 与 費	百万円	8,370	8,520	150	101.8
	材 料 費	百万円	4,488	4,452	△ 36	99.2
	経 費	百万円	2,663	2,819	156	105.9
	その他医業費用	百万円	1,179	1,190	11	100.9
	医業費用 計	百万円	16,700	16,979	279	101.7
	その他費用	百万円	268	277	9	103.4
	合 計 ②	百万円	16,969	17,257	288	101.7
経常損益 ③ (①－②)		百万円	△ 796	△ 922	△ 126	—
特別利益 ④		百万円	3	5	2	—
特別損失 ⑤		百万円	7	16	9	228.6
純損益⑥ (③＋④－⑤)		百万円	△ 800	△ 934	△ 134	—

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

据置型デジタルX線テレビ装置などの医療機器の更新（約 393 百万円）

3 今後の取組

より一層の収益確保に取り組むとともに、コスト削減に取り組んでいる。

- ① HCU（ハイケアユニット）病棟の集約及び増床（＋3床：令和8年4月～）
- ② 令和8年6月の診療報酬改定への的確な対応
- ③ 淡路島3市による胃がん検診（内視鏡検査）の開始（令和8年5月～）
- ④ 清掃業務等の仕様見直しによるコスト削減（令和8年4月～）

【参 考】 令和7年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記 者 発 表 （ 資 料 配 布 ）				
月・日 (曜日)	担 当 部 課 担 当 名	TEL	発 表 者 名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	ひょうごこころの医療センター 総 務 部	代表 078-581-1013 内線 2612	管理局長 石川 雅重 (総務部長 八木 充宏)	県政記者 クラブ

令和7年度 県立ひょうごこころの医療センターの経営状況について

1 経営状況

- (1) 入院収益は、警察署等関係機関への訪問など各病棟の特性(急性期、慢性期、児童思春期、アルコール)に応じた受入れに積極的に取り組み、入院患者が全般的に増加したことから、前年度から209百万円増の2,047百万円となった。外来収益は、情報発信等により患者数は増加したものの外来単価が減少したことで、前年度から3百万円減の360百万円となった。経常収益は、医業外収益で国補正予算による補助金があったことを加え、前年度から355百万円増の4,596百万円となった。
- (2) 経常費用は、主に給与費の増加により、前年度から88百万円増加し、4,680百万円となった。
- (3) その結果、経常損益は前年度から267百万円改善し、84百万円の赤字となった。

区 分		単位	令和6年度	令和7年度	前年度比較	
					増減	割合(%)
業務量	病床数(年度末)	床	254	254	0	100.0
	入 院	延患者数	65,289	71,789	6,500	110.0
		1日当たり患者数	179	197	18	110.1
		新規患者数	1,174	1,292	118	110.1
		診療単価	28,143	28,519	376	101.3
	外 来	延患者数	50,371	50,993	622	101.2
		1日当たり患者数	207	211	4	101.9
		新規患者数	1,987	2,122	135	106.8
		診療単価	7,214	7,057	△ 157	97.8
経常収益	入院収益	百万円	1,838	2,047	209	111.4
	外来収益	百万円	363	360	△ 3	99.2
	その他医業収益	百万円	18	20	2	111.1
	医業収益 計	百万円	2,219	2,428	209	109.4
	一般会計繰入金	百万円	1,749	1,791	42	102.4
	その他収益	百万円	273	378	105	138.5
	合 計 ①	百万円	4,241	4,596	355	108.4
経常費用	給 与 費	百万円	3,298	3,358	60	101.8
	材 料 費	百万円	188	196	8	104.3
	経 費	百万円	654	671	17	102.6
	その他医業費用	百万円	381	360	△ 21	94.5
	医業費用 計	百万円	4,521	4,585	64	101.4
	その他費用	百万円	71	95	24	133.8
	合 計 ②	百万円	4,592	4,680	88	101.9
経常損益 ③ (①－②)		百万円	△ 351	△ 84	267	—
特別利益 ④		百万円	2	0	△ 2	—
特別損失 ⑤		百万円	1	0	△ 1	0.0
純損益⑥ (③＋④－⑤)		百万円	△ 350	△ 83	267	—

※ 1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 施設・医療機器の整備状況

- ① 個室化工事(西 2 病棟・総室、約 11 百万円)の推進
- ② 患者アメニティ向上事業(南 2 病棟食堂等改修、患者ロッカーの更新、約 20 百万円)の推進
- ③ 社会復帰棟吸収冷温水機(約 40 百万円)の更新

3 今後の取組

- ① 警察署、消防本部等との連携強化による救急患者の受入促進
- ② 各病棟の特性に応じた効率的・効果的な病棟運営による病床利用率の向上・維持
- ③ 病院の特色・取組についての積極的な情報発信

[参 考] 令和 7 年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記 者 発 表 （ 資 料 配 布 ）				
月・日 (曜日)	担 当 部 課 担 当 名	TEL	発 表 者 名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	こども病院 総 務 部	代表 078-945-7300 内線 24010	管理局長 高崎 徳子 (総務部長 細見 能文)	県政記者 クラブ

令和7年度 県立こども病院の経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、前年度の電子カルテ更新に伴う患者受入抑制が解消されたことに加え、地域医療連携の推進による新規入院患者の確保等により医業収益が増加したほか、ファシリティドッグの導入に向けたクラウドファンディングの実施や新たな寄附の仕組みの構築等により、前年度から918百万円増加し、15,213百万円となった。
- (2) 経常費用は、給与改定による給与費の増や、人件費・物価の高騰による経費・材料費の増等により、前年度から1,640百万円増加し、17,544百万円となった。
- (3) その結果、経常損益は、前年度から721百万円悪化し、2,330百万円の赤字となった。

区 分		単位	令和6年度	令和7年度	前年度比較	
					増減	割合(%)
業務量	病床数(年度末)	床	290	290	0	100.0
	入 院	延患者数	83,965	84,977	1,012	101.2
		1日当たり患者数	230	233	3	101.3
		新規患者数	7,399	7,536	137	101.9
		平均在院日数	10.3	10.3	0.0	100.0
		診療単価	106,417	107,562	1,145	101.1
	外 来	延患者数	108,193	105,483	△ 2,710	97.5
		1日当たり患者数	445	436	△ 9	98.0
		新規患者数	15,022	13,471	△ 1,551	89.7
		診療単価	18,851	19,181	330	101.8
経常収益	入院収益	百万円	8,935	9,140	205	102.3
	外来収益	百万円	2,040	2,023	△ 17	99.2
	その他医業収益	百万円	128	147	19	114.8
	医業収益 計	百万円	11,103	11,311	208	101.9
	一般会計繰入金	百万円	2,448	2,767	319	113.0
	その他収益	百万円	744	1,136	392	152.7
	合 計 ①	百万円	14,295	15,213	918	106.4
経常費用	給 与 費	百万円	9,641	10,247	606	106.3
	材 料 費	百万円	2,625	2,975	350	113.3
	経 費	百万円	2,510	2,775	265	110.6
	その他医業費用	百万円	965	1,322	357	137.0
	医業費用 計	百万円	15,741	17,319	1,578	110.0
	その他費用	百万円	163	224	61	137.4
	合 計 ②	百万円	15,904	17,544	1,640	110.3
経常損益 ③ (①－②)		百万円	△ 1,609	△ 2,330	△ 721	—
特別利益 ④		百万円	1	4	3	400.0
特別損失 ⑤		百万円	2	6	4	300.0
純損益⑥ (③＋④－⑤)		百万円	△ 1,610	△ 2,333	△ 723	—

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① 小児集中治療センターの設置やドクタージェット事業参画等による広域からの重症患者受入強化
- ② 入退院支援センターの対象診療科拡大（7年10月～）

(2) 施設・医療機器の整備

- ① 全身用コンピュータ断層撮影装置（約154百万円）の更新（8年3月）
- ② 産科用超音波画像診断装置（約27百万円）の更新（7年12月）
- ③ 分娩監視装置（約22百万円）の更新（7年11月）
- ④ 循環器内科用超音波画像診断装置（約19百万円）の更新（8年1月）

3 今後の取組

- ① 地域医療機関等との更なる連携強化による新規入院患者の確保
- ② 移転10周年事業を契機とした継続的な寄附広報の取組みによる寄附基盤の拡大
- ③ ファシリティドッグの導入及び緩和医療の充実

[参 考] 令和7年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記 者 発 表 （ 資 料 配 布 ）				
月・日 (曜日)	担 当 部 課 担 当 名	TEL	発 表 者 名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	がんセンター 総務部	代表 078-929-1151 内線 8180(8017)	管理局長 井上 博尊 (総務部長 高見 和典)	県政記者 クラブ

令和7年度 県立がんセンターの経営状況について

1 経営状況

- (1) 医業収益は、入院患者数の減少はあったものの、外来患者数の増加や入院・外来ともに診療単価が増加したこと、更に国による物価上昇対策関連の補助金が増加したことも影響し、前年度から861百万円増加し、18,540百万円となった。また、一般会計繰入金が124百万円増加したこと等から、経常収益は、前年度から1,004百万円増加し、20,172百万円となった。
- (2) 経常費用は、給与改定等により給与費が561百万円増加、物価高騰の影響等から材料費が595百万円増加、また最低賃金の上昇等から経費（委託料）が130百万円増加したこと等により、前年度から1,086百万円増加し、20,539百万円となった。
- (3) この結果、経常損益は、前年度から 81 百万円悪化し、366 百万円の赤字となった。

区 分		単位	令和6年度	令和7年度	前年度比較	
					増減	割合(%)
業務量	病床数（年度末）	床	360	360	0	100.0
	入院	延患者数	103,712	102,425	△ 1,287	98.8
		1日当たり患者数	284	280	△ 4	98.6
		新規患者数	7,855	8,013	158	102.0
		平均在院日数	12.2	11.8	△ 0.4	96.6
		診療単価	73,936	76,698	2,762	103.7
	外来	延患者数	170,066	173,201	3,135	101.8
		1日当たり患者数	700	716	16	102.3
		新規患者数	8,817	9,240	423	104.8
		診療単価	56,470	58,672	2,202	103.9
経常収益	入院収益	百万円	7,668	7,856	188	102.5
	外来収益	百万円	9,603	10,162	559	105.8
	その他医業収益	百万円	408	522	114	127.9
	医業収益 計	百万円	17,679	18,540	861	104.9
	一般会計繰入金	百万円	836	960	124	114.8
	その他収益	百万円	653	672	19	102.9
	合 計 ①	百万円	19,168	20,172	1,004	105.2
経常費用	給 与 費	百万円	6,973	7,534	561	108.0
	材 料 費	百万円	9,019	9,614	595	106.6
	経 費	百万円	2,421	2,551	130	105.4
	その他医業費用	百万円	937	736	△ 201	78.5
	医業費用 計	百万円	19,350	20,435	1,085	105.6
	その他費用	百万円	103	103	0	100.0
	合 計 ②	百万円	19,453	20,539	1,086	105.6
経常損益 ③（①－②）		百万円	△ 285	△ 366	△ 81	—
特別利益 ④		百万円	1	2	1	200.0
特別損失 ⑤		百万円	2	0	△ 2	0.0
純損益⑥（③＋④－⑤）		百万円	△ 286	△ 365	△ 79	—

※ 1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① ゲノム医療の推進
 - ・ がんゲノム医療拠点病院（全国で 32 機関）
 - ・ 遺伝子パネル検査の実施（令和 7 年度実績：157 件）
 - ・ 先進医療の実施
 - ・ 県内他院に対する遺伝診療の応援
- ② がん相談支援センターの機能強化
- ③ 入退院支援センターの機能充実
- ④ チーム医療の充実
- ⑤ AYA 世代サポートチームの活動強化

(2) 施設・医療機器の整備

- ① 遠隔操作型内視鏡下手術支援システムの増設（約 88 百万円）（令和 8 年 3 月）
- ② 調剤支援システムの更新（約 63 百万円）（令和 7 年 9 月）
- ③ 腹腔鏡下手術機器の更新（約 23 百万円）（令和 7 年 11 月）
- ④ MRI システムの更新（約 20 百万円）（令和 8 年 3 月）
- ⑤ 内視鏡システムの更新（約 19 百万円）（令和 7 年 12 月）
- ⑥ 小線源アプリケーションの更新（約 15 百万円）（令和 7 年 12 月）

3 今後の取組

- ① がんゲノム医療拠点病院としての機能強化
 - ・ 遺伝子パネル検査の実施、検査対象患者への支援
 - ・ ゲノム外来、遺伝外来（遺伝カウンセリングを含む）の充実
- ② 都道府県がん診療連携拠点病院としての連携強化
 - ・ 地域医療機関への訪問、意見交換
 - ・ 市内がん検診実施医療機関への患者紹介の働きかけ
 - ・ 相談支援センターにおける治療と仕事の両立支援強化
 - ・ 初診インターネット予約の推進
 - ・ インターネット 2 次検査予約の推進
- ③ ダヴィンチ 2 台体制等による低侵襲手術の取組強化
- ④ リニアックによる高精度放射線治療（IMRT、定位照射）の促進
- ⑤ ベッドコントロールセンター活用による病床管理の推進
- ⑥ がん患者リハビリテーションの強化
- ⑦ 治験・臨床研究の推進
- ⑧ 生成 AI 活用による事務の効率化
- ⑨ 新病院建築工事等の推進

[参 考] 令和 7 年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記 者 発 表 （ 資 料 配 布 ）				
月・日 (曜日)	担 当 部 課 担 当 名	TEL	発 表 者 名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	粒子線医療センター 事 務 部	代表 0791-58-0100 内線 272	事務部長 井上 恵介 (総務課長 井口 公夫)	県政記者 クラブ

令和7年度 県立粒子線医療センターの経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、紹介元医療機関向け及び患者・一般向け広報に積極的に取組んだことから、実患者数が増加し、前年度比4百万円増加の2,742百万円となった。
(内訳 たつの：1,757百万円、神戸：985百万円)
- (2) 経常費用は、給与改定による給与費増や物価上昇等により経費が上昇したことから、前年度比108百万円増加の3,917百万円となった。
(内訳 たつの：2,483百万円、神戸：1,434百万円)
- (3) この結果、経常損益は、前年度から105百万円悪化し、1,176百万円の赤字となった。
(内訳 たつの：△727百万円、神戸：△449百万円)

区 分		単位	令和6年度	令和7年度	前年度比較	
					増減	割合(%)
業務量	病床数(年度末)	床	50	50	0	100.0
	入院	延患者数	9,219	8,950	△ 269	97.1
		1日当たり患者数	25	25	0	100.0
		実患者数	250	255	5	102.0
		診療単価	86,789	89,411	2,622	103.0
	外来	延患者数	13,188	12,739	△ 449	96.6
		1日当たり患者数	54	53	△ 1	98.1
		実患者数	376	374	△ 2	99.5
		診療単価	68,180	69,582	1,402	102.1
経常収益	入院収益	百万円	800	800	0	100.0
	外来収益	百万円	899	886	△ 13	98.6
	その他医業収益	百万円	43	35	△ 8	81.4
	医業収益 計	百万円	1,742	1,722	△ 20	98.9
	一般会計繰入金	百万円	513	515	2	100.4
	その他収益	百万円	483	505	22	104.6
	合 計 ①	百万円	2,738	2,742	4	100.1
経常費用	給 与 費	百万円	942	1,004	62	106.6
	材 料 費	百万円	82	80	△ 2	97.6
	経 費	百万円	1,722	1,747	25	101.5
	その他医業費用	百万円	818	847	29	103.5
	医業費用 計	百万円	3,564	3,679	115	103.2
	その他費用	百万円	245	238	△ 7	97.1
	合 計 ②	百万円	3,809	3,917	108	102.8
経常損益 ③ (①－②)		百万円	△ 1,071	△ 1,176	△ 105	—
特別利益 ④		百万円	14	4	△ 10	—
特別損失 ⑤		百万円	0	3	3	—
純損益⑥ (③＋④－⑤)		百万円	△ 1,057	△ 1,174	△ 117	—

※1 県立粒子線医療センター（たつの）と神戸陽子線センター（神戸）を合算している。

※2 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① 県立粒子線医療センター、附属神戸陽子線センター、県立がんセンターによるがん診療ネットワークの運用（ZOOM等を活用したカンサーボードの実施）
（令和7年度実施回数：614回）
- ② 保険適用の拡大に向けた臨床試験（先進医療B）の実施
- ③ 肺がん・肝がん・膵がんに対する粒子線治療の治療成績と安全性の向上
- ④ オンライン診療による患者利便性の向上（令和7年度利用者 170人（たつの：52人、神戸：118人））
- ⑤ イベント開催時での個別がん相談の実施
- ⑥ 神戸圏域放射線治療共同利用連合参加による診療連携
- ⑦ 陽子線治療装置（神戸陽子線センター）の拡充・更新工事の実施（令和8年度から5年間）

3 今後の取組

- ① メディアミックスによる広報の展開
- ② 患者・一般向けセミナー、見学会の開催

[参 考] 令和7年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記 者 発 表 （ 資 料 配 布 ）				
月・日 (曜日)	担 当 部 課 担 当 名	TEL	発 表 者 名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	兵庫県災害医療センター 事 務 部	代表 078-241-3131	事務部長 瀧口 直彦 (総務課長 松本 和子)	県政記者 クラブ

令和7年度 兵庫県災害医療センターの経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、県下唯一の高度救命救急センターとして、生命に関わる重篤患者の積極的な受入に努めたことから、対前年度比で救急応需率が8.6%向上（79.9%→88.5%）し新規入院患者が17%増加(951人→1,114人)したことなどから、昨年度を409百万円上回る2,689百万円となった。
- (2) 経常費用は、社会経済的な賃金上昇・物価高騰に加え新規入院患者が増加したことなどから、給与費・材料費・経費とも増加し昨年度を172百万円上回った。
- (3) 経常損益は、経常費用の増加を経常収益の増加が上回ったことから、昨年度の42百万円の赤字から238百万円収支改善化し、196百万円の黒字を確保した。

区 分		単位	令和6年度	令和7年度	前年度比較	
					増減	割合(%)
業務量	病床数（年度末）	床	30	30	0	100.0
	入院	延患者数	8,022	9,225	1,203	115.0
		1日当たり患者数	22	25	3	113.6
		新規患者数	951	1,114	163	117.1
		平均在院日数	7.4	7.3	△ 0.1	98.6
		診療単価	176,350	181,600	5,250	103.0
	外来	延患者数	232	249	17	107.3
		1日当たり患者数	1	1	0	100.0
		新規患者数	218	238	20	109.2
経常収益	診療単価		327,754	335,815	8,061	102.5
	入院収益		百万円 1,415	1,675	260	118.4
	外来収益		百万円 76	84	8	110.5
	その他医業収益		百万円 9	18	9	200.0
	医業収益 計		百万円 1,500	1,777	277	118.5
	一般会計繰入金		百万円 0 (782)	0 (909)	0	—
	指定管理料収入		百万円 726	838	112	115.4
	その他収益		百万円 54 (133)	74 (184)	20	137.0
	合 計 ①		百万円 2,280 (915)	2,689 (1,092)	409	117.9
経常費用	給 与 費		百万円 1,405 (36)	1,469 (48)	64	104.6
	材 料 費		百万円 457	516	59	112.9
	経 費		百万円 335 (727)	356 (840)	21	106.3
	その他医業費用		百万円 18 (126)	24 (175)	6	133.3
	医業費用 計		百万円 2,215 (889)	2,364 (1,063)	149	106.7
	その他費用		百万円 107 (26)	129 (29)	22	120.6
	合 計 ②		百万円 2,322 (915)	2,494 (1,092)	172	107.4
経常損益 ③ (①－②)		百万円	△ 42 (0)	196 (0)	238	—
特別利益 ④		百万円	0	0	0	—
特別損失 ⑤		百万円	0	0	0	—
純損益⑥ (③＋④－⑤)		百万円	△ 42 (0)	196 (0)	238	—

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

※2 参考として、病院局決算（指定管理料、派遣職員給与費等）を（ ）書きで記載している。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① 県下唯一の高度救命救急センターとして、医療の質及び救命率の向上を図るため、ハイブリッドER（高度救命初療室）診療やECPR（体外循環式心肺蘇生法）と一連の体温管理療法プロトコルを確立し、実践・運用を行っている。
- ② 神戸市域中心に県内各地から3次救急患者を積極的に受入れ救急応需率の向上を図るとともに、ドクターカー運行によるプレホスピタルケア（搬送車中における医療）やドクターヘリによる搬送患者を受入れ、重篤患者に対応するという高度救命救急センターの役割を担っている。
- ③ 基幹災害拠点病院として、災害時の患者受入れ体制の強化や県下災害医療の司令塔としての機能強化を図るとともに、DMAT隊員や救急救命士など災害医療に携わる人材の育成を継続的に実施している。
- ④ 神戸市はじめ県内消防機関との有機的な連携や隣接する神戸赤十字病院との一体的な医療連携を更に一層強化し、引き続き重篤患者の受入れを促進するとともに、患者状態に適合する適切なベッドコントロールや退院調整を着実にを行い、在院日数の適正化を図っている。

(2) 施設・医療機器の整備

- ① 生体情報モニタ(26百万円)の更新（令和8年3月）
- ② 救命用セット（除細動器・呼吸器）(13百万円)の更新（令和8年2月）
- ③ 人工呼吸器(33百万円)の更新（令和8年3月）
- ④ 汎用超音波画像診断装置（11百万円）の更新（令和7年9月）

3 今後の取組

- ① ハイブリッドER診療・ECPRと一連の体温管理療法プロトコル適応症例を積み重ね、これらの専門性・特殊性の高い希少な臨床現場を研修医師など院内外の多くのメディカルスタッフの研鑽の場として提供していく。
- ② 県内の消防機関や神戸赤十字病院をはじめとする転院先医療機関との有機的な連携を高め、多くの新入院患者の確保や適切なベッドコントロールの要としてのスムーズな転院を促進し、外因性重篤症例の集約施設としての使命を果たしていく。
- ③ 神戸赤十字病院との一体的な診療体制の確立に努め、より良質で安全な高度救命救急医療の維持・向上を図っていく。
- ④ 重症患者の早期回復や退院後ADL向上を図るためリハビリテーション体制の強化に取り組み、医療の質向上を図るとともに、診療報酬加算による収益の拡大や更なる収支改善に努めていく。
- ⑤ 開院から20年以上を経過した医療機器や施設設備の老朽化に対応し医療機能維持を図るため、医療機器の計画的更新や施設設備の適切な保守点検と必要な修繕を実施していく。
- ⑥ 救急医師・特定看護師・救急救命士・DMAT隊員を対象とした教育研修会（OFF-JT）や訓練を実施し、引き続き県内外の救急・災害医療に当たる人材の育成を図っていく。

[参 考] 令和7年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記 者 発 表 （ 資 料 配 布 ）				
月・日 (曜日)	担 当 部 課 担 当 名	TEL	発 表 者 名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	リハビリテーション中央病院 総 務 部	代表 078-927-2727 内線 2228	管理局長 隅岡 繁宏 (総務部長 今中 隆洋)	県政記者 クラブ

令和7年度 県立リハビリテーション中央病院の経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、医療機関等における賃上げ・物価上昇に対する支援事業補助金や光熱費等高騰対策一時支援金等によりその他収益が前年度より 176 百万円増加したものの、入院患者数の減少や院外処方への移行に伴い医業収益が減少し、前年度に比べ 164 百万円減少となり、5,053 百万円となった。
- (2) 経常費用は、給与改定により給与費が増加したものの、院外処方への移行に伴い材料費が減少し、前年度に比べ 171 百万円減少となり、5,065 百万円となった。
- (3) その結果、経常損益は、前年度よりも 7 百万円改善し 12 百万円の赤字となった。

区 分		単位	令和6年度	令和7年度	前年度比較	
					増減	割合(%)
業務量	病床数（年度末）	床	330	330	0	100.0
	入院	延患者数	人 89,343	86,580	△ 2,763	96.9
		1日当たり患者数	人 245	237	△ 8	96.7
		新規患者数	人 1,979	2,119	140	107.1
		平均在院日数	日 33.7	40.0	6.3	118.7
		診療単価	円 42,876	43,910	1,034	102.4
	外来	延患者数	人 58,138	55,920	△ 2,218	96.2
		1日当たり患者数	人 239	231	△ 8	96.7
		新規患者数	人 2,887	2,563	△ 324	88.8
		診療単価	円 15,409	9,508	△ 5,901	61.7
経常収益	入院収益	百万円	3,831	3,802	△ 29	99.2
	外来収益	百万円	896	532	△ 364	59.4
	その他医業収益	百万円	69	104	35	150.7
	医業収益 計	百万円	4,796	4,438	△ 358	92.5
	一般会計繰入金	百万円	0 (350)	0 (390)	0	—
	指定管理料収入	百万円	336	354	18	105.4
	その他収益	百万円	85 (379)	261 (558)	176	307.1
	合 計 ①	百万円	5,217 (729)	5,053 (948)	△ 164	96.9
経常費用	給 与 費	百万円	2,893 (11)	2,927 (17)	34	101.2
	材 料 費	百万円	1,221	934	△ 287	76.5
	経 費	百万円	1,122 (338)	1,205 (356)	83	107.4
	その他医業費用	百万円	0 (354)	0 (528)	0	—
	医業費用 計	百万円	5,236 (703)	5,065 (900)	△ 171	96.7
	その他費用	百万円	0 (26)	0 (48)	0	—
	合 計 ②	百万円	5,236 (729)	5,065 (948)	△ 171	96.7
経常損益 ③ (①－②)		百万円	△ 19 (0)	△ 12 (0)	7	—
特別利益 ④		百万円	0	0	0	—
特別損失 ⑤		百万円	0	0	0	—
純損益⑥ (③＋④－⑤)		百万円	△ 19 (0)	△ 12 (0)	7	—

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が含まない場合がある。

※2 参考として、病院局決算（指定管理料、派遣職員給与費等）を（ ）書きで記載している。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① 回復期リハビリテーション病棟においてより質の高いリハビリテーションの提供
- ② 「スポーツ医学診療センター」におけるスポーツ障害等に対する包括的な対応

(2) 施設・医療機器の整備

- ① 骨密度測定装置（約 13 百万円）の更新（7 年 12 月～）
- ② 超音波洗浄装置（約 16 百万円）の更新（8 年 1 月～）
- ③ DR システム（約 17 百万円）の更新（8 年 3 月～）

3 今後の取組

- ① リハビリテーション入院機能の充実
- ② 地域医療連携の強化

[参 考] 令和 7 年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記 者 発 表 （ 資 料 配 布 ）				
月・日 (曜日)	担 当 部 課 担 当 名	TEL	発 表 者 名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/16 (水)	リハビリテーション西播磨病院 業 務 部	代表 0791-58-1050 内線 204	管理局長 喜多 晃 (業務部長 木村 晃一)	県政記者 クラブ

令和7年度 県立リハビリテーション西播磨病院の経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、圏域内を中心に積極的な病院訪問を行ったが、入院1日当たり患者数はやや減少したため、入院収益は47百万円減少した。外来収益は、軽度認知機能障害(MCI)※の診療などにより1日あたり診療単価が1,949円増となり、14百万円増加した。経常収益全体では、対前年度比同額であった。

※軽度認知機能障害(MCI):Mild Cognitive Impairment (マイルド・コグニティブ・インペアメント)
(穏やか・認知機能・障害)

- (2) 経常費用は、給与改定による給与費の増加、医療機器修繕費の増加により、前年度比で59百万円増加した。
- (3) 経常損益は、前年度比較で60百万円悪化し、84百万円の赤字となった。

区 分		単位	令和6年度	令和7年度	前年度比較	
					増減	割合(%)
業務量	病床数(年度末)	床	100	100	0	100.0
	入院	延患者数	32,659	31,390	△ 1,269	96.1
		1日当たり患者数	89	86	△ 3	96.6
		新規患者数	528	519	△ 9	98.3
		平均在院日数	61.0	59.7	△ 1.3	97.9
		診療単価	39,890	40,023	133	100.3
	外来	延患者数	9,304	9,206	△ 98	98.9
		1日当たり患者数	38	38	0	100.0
		新規患者数	1,231	1,174	△ 57	95.4
		診療単価	43,620	45,569	1,949	104.5
経常収益	入院収益	百万円	1,303	1,256	△ 47	96.4
	外来収益	百万円	406	420	14	103.4
	その他医業収益	百万円	23	35	12	152.2
	医業収益 計	百万円	1,732	1,711	△ 21	98.8
	一般会計繰入金	百万円	0 (134)	0 (144)	0	—
	指定管理料収入	百万円	129	140	11	108.5
	その他収益	百万円	32 (260)	41 (239)	9	128.1
	合 計 ①	百万円	1,893 (394)	1,893 (383)	0	100.0
経常費用	給 与 費	百万円	1,048 (0)	1,088 (0)	40	103.8
	材 料 費	百万円	387	390	3	100.8
	経 費	百万円	482 (130)	499 (140)	17	103.5
	その他医業費用	百万円	0 (247)	0 (226)	0	—
	医業費用 計	百万円	1,917 (377)	1,976 (366)	59	103.1
	その他費用	百万円	0 (17)	0 (17)	0	—
	合 計 ②	百万円	1,917 (394)	1,976 (383)	59	103.1
経常損益 ③ (①-②)		百万円	△ 24 (0)	△ 84 (0)	△ 60	—
特別利益 ④		百万円	0	0	0	—
特別損失 ⑤		百万円	0	0	0	—
純損益⑥ (③+④-⑤)		百万円	△ 24 (0)	△ 84 (0)	△ 60	—

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

※2 参考として、病院局決算(指定管理料、派遣職員給与費等)を()書きで記載している。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① 神経難病、高次脳機能障害等のニーズに対応した診断、治療、セルフケア獲得に向けた看護の提供、園芸療法、音楽療法を含む多様なリハビリテーションサービスの提供
- ② 認知症疾患医療センターにおける軽度認知機能障害(MC I)の早期発見から診断、支援

(2) 施設・医療機器の整備

- ① 診断用X線撮影装置（約 19 百万）の更新（8 年 1 月）
- ② 全自動錠剤分包機（約 8 百万円）の更新（8 年 1 月）
- ③ 歯科診療用X線撮影装置（約 8 百万）の更新（8 年 1 月）
- ④ 歯科診療用ユニット一式（約 14 百万）の更新（8 年 1 月）
- ⑤ 医療ガス設備更新等工事（約 19 百万円）の実施（8 年 3 月）

3 今後の取組

- ① 患者確保にかかる継続的な病院訪問など取組み

[参 考] 令和7年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）